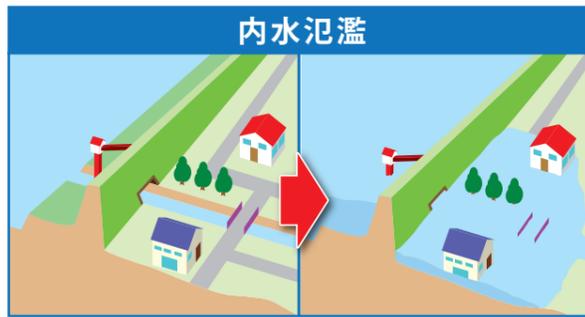


# 3-1 東近江市をおそう水害

## 大雨によって発生する水害



大雨により、下水道や水路への排水ができなくなり、水があふれ出す現象を「内水氾濫」と言います。



大雨によって河川が大幅に増水し、堤防から水があふれたり、堤防が決壊することにより水が流れ出す現象を「外水氾濫」と言います。

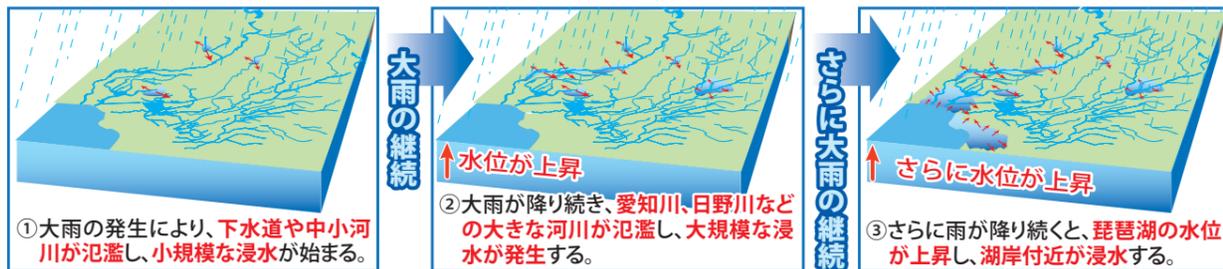
## 市で起こる水害



市には、愛知川、日野川のような大きな河川のほかに、たくさんの中小河川が流れ、琵琶湖に注いでいます。琵琶湖に注ぐ多くの河川は、河川の長さが短く、勾配が急で洪水が一時的に起こりやすく、山から運ばれた土砂によって、周辺の地盤高より水面が高い天井川になっています。そのため、万が一堤防の決壊などが起こると、甚大な被害が発生することが想定されます。

このハザードマップには、国や県が実施した浸水シミュレーション結果を示しています。あらかじめ大雨時にどのような危険性があるかを知り、いざという時に備えましょう。

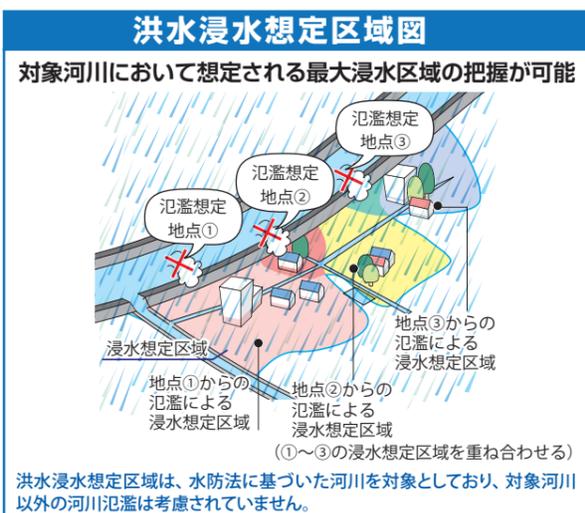
## 河川と琵琶湖の氾濫のイメージ



## 地先の安全度マップと洪水浸水想定区域図の違い

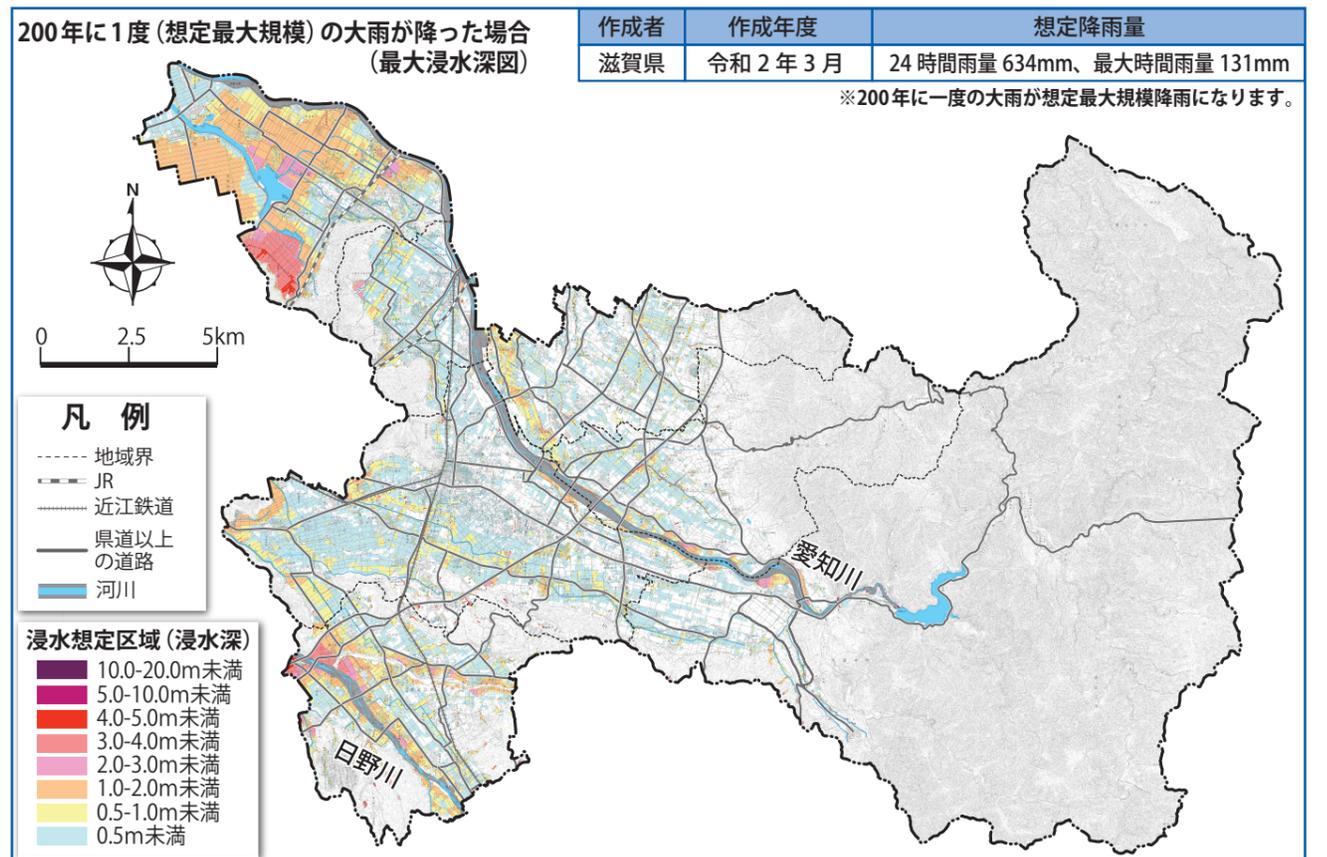
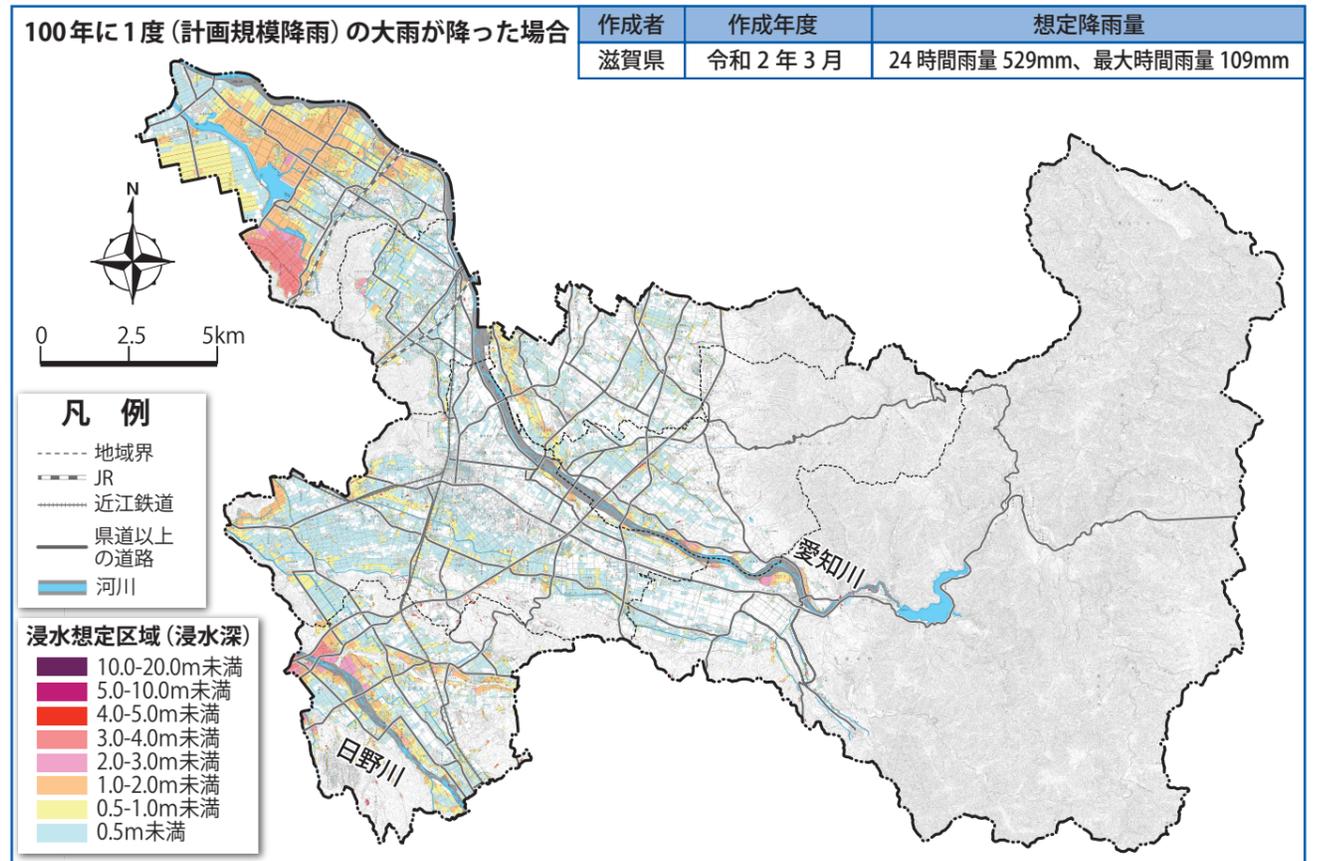


地先の安全度マップは、県の条例に基づき作成されており、主な河川だけでなく中小河川や農業用排水路など身近な水路の氾濫も考慮したものです。



洪水浸水想定区域は、水防法に基づいた河川を対象としており、対象河川以外の河川氾濫は考慮されていません。

## 地先の安全度マップ



共通編

地震編

風水害編

我が家の防災計画

共通編

地震編

風水害編

我が家の防災計画